



宗像高校同窓会報

第 44 号



同窓会長
川島 照亮

発展と躍進を

著さぬしき折、会員の皆様におかれましてはますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

私は昨年夏の同窓会総会におきまして、第9代会長として推薦、承認をいただきました。3万人を超える同窓会員の会長として、同窓会の目指す「会員相互の親睦」「母校発展への寄与」を考えました時、その責務の大きさを改めて認識し、身の引き締まる思いでございます。皆様のさらなる御指導と御鞭撻をお願い申し上げます。伊豆善也前会長には幅広い知識と人望で長年に渡り御尽力いただき、誠に有り難うございました。伊豆会長は我が母校にも大きく貢献されたことは言うまでもありません。改めて感謝申し上げます。私も新役員と共に諸先輩の築いて来られた伝統を踏襲しつつ、皆様のお力をお借りし、会の発展に微力ながら力を尽くしたいと思っております。

総会でも所信の一端を述べさせていただきましたが、今まさに社会は物事が地球規模で進んでおります。同窓会におきましてもこの変化への感度を高め、これ

からの社会ニーズに対し新たな発想を持って、同窓会は「何が出来るか」常にゼロスタート精神でチャレンジし、自ら意識改革に取り組まなければならないと思います。会員の構成も宗中・宗女から高校卒業者主体へと変わってきました。そして4年後の平成30年には「創立百周年」という大きな節目を迎えます。新役員と共に今までの以上に若い同窓生にも参加してもらえよう企画運営を図っていきたいと思っています。

さて皆様も新聞報道等でご存知のように、母校は平成27年度から中高一貫校として歴史的第一歩を踏み出すこととなりました。中高6年間の教育活動をおしえて、グローバル社会を生き抜いていけるような明るく元気でたくましい、国際感覚を身に付けた次代を担う生徒が、この宗像の地から育ってくださることを楽しみにしております。

私は常々「宗像のアイデンティティは教育にあり」と思っております。その先頭に我が母校「宗像高校」が立たねばなりません。教育とはその時の収獲を期待するものではなく、将来に向かって種を蒔く作業の場です。そのためには多くの年代の皆様の参加により同窓会を盛り立てて、後輩諸君を支えて頂くことを切にお願い申し上げます

中高一貫校・創立百周年、それぞれ大きな節目を迎えることとなります。これからはその記念事業として様々な事業や行事が企画されます。これらはいずれも宗像高校の魅力あるキャンパスを目指す事業です。同窓会の皆様の物心両面での御協力が必要です。会員の皆様には今後とも一層の温かい御指導、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後にになりましたが、東京・関西・北九州・福岡・宗像市役所の各支部におかれましても役員の方々を中心に、それぞれに工夫を凝らした同窓会活動をしていただきます心から感謝申し上げます。母校の発展と後輩の活躍を期待し、皆様のますますの御活躍、御健勝を祈念して会長の挨拶とさせていただきます。



前同窓会長
伊豆 善也

会長退任の挨拶

同窓会会員の皆様におかれましては、益々のご健勝で活躍のこととお喜び申し上げます。平成25年7月の総会でご退任いたしました。田中駒雄会長の後を引き継ぎ19年間、同窓会長を務めさせていただきました。私がお長職を継続できたのは、偏に同窓会の皆様方のご協力・ご支援の賜と心よりお礼申し上げます。

顧みますと、一番の思い出は平成15年10月に新校舎竣工式を挙行し、宗像高校の新たな歴史が始まったことであります。そしていよいよ平成27年度からは中高一貫校として、また新たな一歩を踏み出すこととなりました。中高6年間の教育活動とおして、次世代を担う国際感覚を身に付けた生徒が、育ってくれることを大いに期待しております。

また、年に一度の同窓会総会、東京・関西・北九州・福岡の支部総会への出席など、各支部の会長をはじめ同窓会の皆様方には大変お世話になりました。私にとりまして沢山の同窓生との出会いは、大変楽しい思い出として心に深く残っております。厚くお礼申し上げます。

新会長の川島同窓会長は、長年副会長として同窓会の運営に携わってこられました素晴らしい新会長です。今後新会長への会員皆様方のご協力を切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、母校宗像高等学校の発展、そして同窓会会員皆様方のご健勝を祈念申し上げます。退任の挨拶とします。

平成26年度年間行事予定

4月

7日 一学期始業式・着任式
8日 入学式
9日 離任式

5 月

2日 開校記念講演会・PTA総会
9日 身体測定・新体力測定
16日～ 中間考査
30・31日 文化祭

6月

11日～自助と共助を学ぶ宿泊体験（1年）
26日～期末考査

平成26年度 開校記念講演
講師 白木邦明氏（高校16回）
演題「私のあゆんだ道～国際宇宙ステーション
完成までの道のり～」

7月

9・10・11日 クラスマッチ（1年・2年・3年）
13日 中高一貫学校説明会
14日～ 三者面談
18日 一学期終業式
23日～ 宿泊学習会

8月

21日 二学期始業式

9月

6日 体育祭
13日 中学生体験入学

10月

1日～中間考査
13日 中学募集要項説明会

11月

20日～期末考査

12月

8日～三者面談
12日 二学期終業式

1月

7日 三学期始業式
19日～修学旅行(2年)
22日 百人一首大会(1年)
27日～耐寒訓練(1年)
31日 耐寒登山(1年)

2月

12日～学年末考査

3月

1日 第66回卒業式
12・13日 クラスマッチ
19日 三学期終業式

宗中22回生

各回だより

宗高第31回	宗高第16回	宗高第12回	宗高第10回	宗高第10回	宗高第4回	宗高第2回	宗中第22回
	宗高第24回	宗高第14回	関東地区、		宗高第5回	宗高第3回	宗女第17回

食に進み、話も尽きませんが、今回にこやかに参加して頂いた中西医師より80歳後半に進む者の体調管理の大切さと、心構えを語って頂きました。歓談は尽きませんが、世話人代表より来年度も今頃同じように同窓会実施予定で参加を約束して閉会しました。

宗女17回

今年一月に「毎年楽しみにしている岡宮会ですが、今回を持って終わりにさせて頂きます。八十才を超えて当番が負担になって来ましたので。」という書状を全員に送りました。

二月三日東郷橋「ひびき」に集まったのは二十六名、前回よりも八名プラスです。真冬なのに風穏やかで暖かくよい日に恵まれました。

「。」と思つていても一言二言で忍びた学生時代の笑顔がはじけます。しかし、数年前から悲しい知らせが届くようになりました。熟病を擡げて寂しい中にも在りし日を懐かしく偲びました。一方、ひざ痛や腰の骨折とかで悩んでいた方が入院や手術のおかげで治ったと聞くことが事のように安心します。ほかにも同窓会当日の朝、発病即入院した方が数年後に元氣な姿で出席されたことや才能ある方が句集や歌集や写真集を出版されるなど嬉しいことや誇らしいこともいろいろありました。

会えば思い出話が入ります。

激動の昭和20年春卒業の私達22回生は、地域世話係の計画で母校の地元宗像で同窓会を開催して旧交を温めて来ています。ここ数年は牟田屋の和風レストラン東広で「玄海ぶく」賞味で実施してきました。今年も2月25日実施の予定でしたが座元の安部君の他界の知らせに驚きましたが、当店の配慮で実施でき感謝しました。参加者は13名で昨年と数名の入れ替わりでした。今年は全員椅子席を準備して頂き、安部君の遠影同席の会になり、恩師・同級生の物故者追悼・記念撮影と進行し「ヒデ酒」の献盃で会食・懇談へと賑やかに進行していきました。

各自の近況報告や社会情報を語り、欠席者からの返信はがきの回覧等話は尽きません。母校の宗像高校が中高一貫校になると中学生の呼び名は、我々と同じく宗中生と呼ぶかとか、母校の将来的な発展を願って止まないう声も聞かれました。

昭和二十二年四年生の時には、戦時中
中断されたままの修学旅行が復活。四国
に行けたこと、バザーや文化祭を聞いた
こと（今では当たり前ですが）劇団「前
進座」が学校に来て「ベニスの商人」を
観て興奮したこと、防空壕作りや勤労奉
仕のためあまり勉強しなかったことな
どなど。もっと話したいけれど約束の時
間になりました。名残を惜しみつつ「元
氣が出た。体大切にしようね。又会おう
ね。」と言って別れました。

これをお読み下さった同級生の皆さ
ま、今後は最寄りもよりで友情の輪を続
けて下さいますようお願いいたします。また
体が不具合の方たちどうか「自愛」下さ
います。快方のお便りを心からお待ちしてお
ります。

(当番 日の里、南郷、東郷、尾園)



宗高4回

傘壽を迎える第四回生の同窓会は、四月二十三日(水)に割烹旅館「華杏楼太郎」で開催しました。参加者は昨年より少なく四十一名でした。男性がやや増えていて、男性の平均寿命を超えんとする年齢でありながら、元氣いっぱい会を盛り上げて開催することが出来ました。

記念撮影の後に、新しく悲報の届

いた数名の物故者に対して黙祷を捧げました。そして傘壽になることを祝して、松尾政信さん、増田清美さんと中村辰徳さんの三人で民謡が披露された後で、乾杯をして宴会が始まりました。大きな窓が開けられて玄界灘を一望することができ、雄大な気分の中で歓談が始まりました。昔椅子を並べた仲間はすぐに六十数年前の生徒に戻り打ち解けあつて、賑やかな会合となりました。さらに壇上では余興のトップとして折目幹男さんによる年季の入った「安来節」が披露されて拍手喝采でした。それに続けとばかりに多数の芸達者が、カラオケ等を我先に占有して、会場の雰囲気盛り上げ楽しい同窓会を過ごすことが出来ました。予定はあつたという間に経過してしまいました。会の最後には、松尾政信さんの指揮の下に全員で校歌を斉唱し、バツが前期の三人で語られました。閉会は斎藤玲子さんの音頭で万歳三喝をして締めくくりました。

来年以降の、できうる限り実施することを参加者全員で確認し合つて、心残りの同窓会場を後にしました。
(文責 片山雄一)

宗高5回

今年も、恒例の同窓会懇親会(十三回)を十月二十六日(土)国民宿舎「ひびき」で開催し、五十七名の元氣な顔が参集し、例年通りの参加者となり一安心。とは言え、少しずつ鬼籍に入る人が増えている事も確かです。自然の理なので致し方ありませんが、寂しい限り。本会は、会員が八十歳に到達する十五回を最終回とすることで参加者のご了解を頂いております。

懇親会は、最初に記念撮影、永嶋の司会で開会、最初に世話人代表の挨拶、続いて、物故者追悼黙祷、校歌斉唱、いつもの事ながら青春の頃が思い出され、目頭が熱くなりました。初回から十三回皆勤された方十五人を代表して中野登泉さんの音頭で乾杯、祝宴に入りました。深田寿巳枝さんが、今年も日本舞踊で花を添えてくれました。宴席は椅子席としてゆったりと歓談できるようにして好評。今後この方式と致します。宴が進むにつれて、年を忘れ杯を重ね、雰囲気がいよいよ盛り上がりだしていききました。新曲の「カラオケ」で若さを、はたまた懐かしのメロディーで懐自慢。方や青春時代の話題に花を咲かせる人々。この先、周りの人々に極力迷惑を掛けない生き方を語り合う人の輪。楽しい時間は、あつという間に過ぎました。皆勤の占部利男さんの音頭で万歳を三喝して一次会を閉めま



宗高2回

四月十九日に、鐘崎のひびきで、恒例の二十年会同窓会(昭和二十年に宗中・宗女に入学した併中一回生と高校二回生)を開催しました。同窓会名簿によると、卒業生は四七六人、物故者は一三三人となつてゐるが住所未確認者が九四人なので、実際の物故者は三割くらいになると思われます。

八十才をこすと、止むを得ぬ事ながら体調不良の人が増え、今回の出席は三十八人となったが、ともかく集まれる事を喜びあい近況を語り往時をなつかしみました。

予定の三時間はあつという間に過ぎ、時間の許す人は五階に移つて二次会、再会を約束してお開きとなりました。
(世話人一同)



宗高3回

宗高3回生45回目の同窓会を、3月8日(土)福岡市のホテル日航福岡で開催しました。

出席者は男性31名、女性20名の合わせて51名でした。

当日の気温は低めながらも「おだやかな早春の一日」でした。年齢も80歳を超えるとアルコール類の飲み振りはおとろえたものの、話は絶好調で2時間が短く感じられました。

出席者の減少は年齢的に仕方ないところですが、同窓生で一回もあるいは永く出席していない同窓生の皆さん!来年の46回目の同窓会には是非ご出席ください。この同窓会報を通じてもおねがいます。

同窓会は楽しいものですよ!

(幹事 野村・記)



宗高10回

二〇一三年五月十二日に関東地区の真武順造さんの場舎に会わせて、水上・藤崎・大場・田中の四名で呼びかけてミニ同窓会を東郷の「史」で行いました。何十年ぶりの方もあり藤崎さんが名札まで用意してくださり、自己紹介から始めて少しずつ高校時代の思い出が甦ってきて話が弾みました。吉武勝さんが作成された高2のクラス写真が大いに約立ちました。

七月二十八日の同窓会総会は、グローバルアリーナの体育館で行われ、十名の参加でした。懇親会後、十回生の参加者だけでグローバルアリーナ内の「グリーングラス」で茶話会をして解散しました。会場が遠方になったのと幹事の都合で今回から二次会を取り止めました。

秋の旅行は、十月二十一日(月)〜二十二日(火)に宮崎日南方面へ行きました。今年は、五月のミニ同窓会から参加を呼びかけたので二十七名の方が参加されました。バ

スは四十人乗りの中型バスを貸し切りましたのでゆっくりと座ることができました。関東地区の塩川悠二さんが届けて下さった煎餅や安部秀男さんが釣られた小アジの空揚げ、安部紀久代さん手製の肥前漬など、賑やかに美味しくいただきましたながら四時間のバスの旅を楽しみました。途中の霧島サービスエリアのレストランで、宮崎名物の冷や汁定食やチキン南蛮定食や黒豚ソースカツ丼など思いの品の注文してすっかりお腹を膨らまして既肥へと向かいました。

既肥では、まず大手門前で全員の記念写真を撮り、三班に分かれて見学やそろそろ歩きをしました。小じんまりとして落ち着いた行まいの中にある歴史資料館や松尾の丸に豫章館と明治の外交官小村寿太郎記念館などを巡って城下町へ下り、食べ歩き町歩きマップを使ってアイスクリームや煎餅などを食べ小物を手に入れたりました。まだ散策に心を残しながら早めにホテルに向かいました。かんばの宿日南では、二時間ゆつくりと食事や歓談をしました。みんな

なの酒量の衰えにびっくりさせられました。

二日目は、日南海岸フェニックス道路を走り、太平洋を眺めながら堀切峠の道の駅「フェニックス」で数筆や買い物をしました。昼食は、「港あおしま」で伊勢えび定食を美味しくいただきました。帰途、生駒高原に立ち寄りしましたが、目当てのコスモスはすっかり散って残念でした。高原のさわやかな風が気持ち良かったです。すぐ近くにリンゴ園があり、新鮮なもぎたてのリンゴを手に入れた人もいました。

若宮インターで下りて、「花遊」で夕食を取り、来年の再会を期して別れました。

二〇一四年は、十月二十日(月)〜二十一日(火)の予定です。皆様の参加を心よりお待ちしております。

同窓会名簿の改訂が行われましたが、住所不明者、物故



者について幹事も分かりかねました。今後とも、皆様ご存知の方の異動や物故がありましたら、同窓会事務局の方へ連絡してくださいようお願いいたします。(幹事一同)

宗高10回関東地区

宗高10回生関東地区同窓会は、平成25年5月15日、龍天門(東京恵比寿ウエスティンホテル東京内)で行いました。出席者は福岡から参加の藤崎さん、渡辺さん、日野さんを含め24名です。昨年亡くなった岡村さんのご主人に黙祷した後、日頃食べ慣れた中華より薄味で食材を生かした、とにかくうまい広東料理を大いに食べました。会場は広くて隣のテーブルにも動き易く、1年ぶりや久しぶりの方と楽しく話されたようです。

食事しながらの話題は、趣味、ボランティア、家族、可愛い孫、同期での次の遊びの計画等いろいろでした。ほとんど毎日スポーツをしている人、地域社会に役立つことをしている人、まだ現役で頑張っている人を含め、それぞれの人生を楽しんでおられるようです。いつの間にか72歳になり、前期高齢者の卒業が近づき、体調不良で不参加の方もあり、一番の関心事は家族を含めての健康でした。食後は、ロビーまたおしゃべりし、来年もまた元気で会うことを約束

して解散しました。

余談ですが、ロビーでのコーヒー代1350円を350円と聞き違え、350円を差金しました。今は350円でコーヒー付きモーニングサービスがあるので、頭が1000円引きに自動修正しました。事前に幹事さんから、龍天門の飲み物は非常に高い(余り飲まれると赤字になる)と聞いていたのでアルコールは控えていましたが、ロビーも高いことを忘れていました。



宗高12回

2月2日(日)、昭和36年卒業生の平成25年度同窓会を、吉塚駅近くの「博多サンヒルズホテル」において、開催しました。

当日は2月とは思えないほどの暖かきで、恩師の高田恒太郎先生も元気に出席され、総勢49名(男性36名、女性13名)の参加となりました。

会は、梶谷明彦副幹事長の司会進行で始まり、まず病気で亡くなられた同級生に対して全員の黙祷を行いました。次

に、同級生代表として、平成24年度会計報告、監査報告、及び

計帳簿の保存について規約の改正が報告され、意義なく承認されました。

写真撮影の後、山本直俊君の司会で懇親会に移りました。高田先生の来賓挨拶に続き、遠方(横浜市、川西市、広島市、光市等)からの出席者の中で、京都の宇治市から参加した花田博幸君の音頭で宴会となりました。アルコールが入ると、旧交を温め合いながらお互いの元気を確かめる場面や若い頃と違って古希を過ぎた体の変調が話題になっていました。クラス別自己紹介では、各自の近況の報告があり、愉快で楽しい話の他にうれしい話もあり、それぞれの人生を元気に頑張っている様子が感じられました。

最後に、校歌を斉唱し、次期幹事長の梶谷君の発声に続いて万歳を三唱して、散会となりました。

(25年度幹事長 梅田哲弘)



宗高24回

還暦同窓会を前にして

宗高二十四回生有志は、時折一泊旅行を実行している。今回は、軍艦島や教会を観光のメインにすえ、長崎市を旅行先に選んだ。

宗高が、以前から言っていた東京での学年同窓会(関東在住の同窓生が福岡で開催する学年同窓会)に出席しにくい面が多々あるので、一度高校時代の修学旅行を思い出して、東京で学年同窓会を開催しようとする計画)を実現するために、今年の還暦同窓会は、大いに同窓生に呼びかけ、盛会に開催できたらと考えている。

(昭和四十八年三月卒業 学年幹事一同)

しかし、いつまでも旅行は続けようという彼らの約束もあり、宗高同窓会館にて計画を練り、十一月二十三日に一泊二日の旅に出発した。天候にも恵まれ、長崎市内観光、そして軍艦島にも上陸できた。日本のエネルギー需要の一翼を担った当時の歴史や文化を目の当たりにすることができ貴重な体験となった。



宗高31回

お世話になった先生方や33年ぶりの同窓生も再会を喜ぶ

第2回の「宗像高等学校 昭和55年度卒業生同窓会」が、平成25年9

月22日(日)に開催され、会場の玄海ロイヤルホテル(宗像市田野)には、恩師4名様を含む計116名の懐かしい顔ぶれが集った。

第1回の同窓会(平成23年)終了時、『次回の開催は5年後を目途に』と発表したもの、その後、多くの参加者から「5年も待てない」「もっと早く開催しよう」といった意見が相次いで寄せられたのを受け、前回の代表世話人・松尾知法君(3組)と遠藤剛一君(7組)とが発起人となり、2回目の早期開催が実現したもの。

第1回開催時は、実に31年ぶりということで、先生方にはまだ御案内を徹底することができなかった。そこで今回は、新体制で各クラスの世話人を増員。世話人各位の尽力により、前回以上に多くの方々に声をかけることができた。

会では、代表世話人、遠藤剛一君挨拶に続き早速行われた同級生への黙祷を行い、参加頂いた先生方に近況のご報告をお願いした。今回、宴席では高校時代を懐かしむ声が大いに盛り上がった。宴席中盤、事務局が数日

宗高14回

去る平成二十六年三月七日、昭和三十三年三月卒業の面々で、博多駅筑紫口博多ホテルに於いて「古希記念同窓会」が開催されました。五十歳代は四年に一度、六十歳代は二年に一度の割合で開催されてきました。他の卒業年度の同窓生と比較してもかなり多くの回数、同窓会を開催してきましたが、遂に、古希の同窓会と相成り各自深い思いを持って会に臨みました。卒業後五十二年を経てそれぞれの変化は色々ですが、内容については言わぬが花というところです。

会はず世話役の挨拶に始まり、続いて大川雄二君の世話で太鼓グループの演奏が行われ会を大いに盛り上げました。その後歓談に移りそれぞれのテーブルが賑わいました。二年に一度とはいえず初めて出席した同窓生もいて旧交を暖める絶好の機会になりました。歓談が一段落したところでアトラクションの始まりです。準備段階で「BIN GO」の声もありましたが時間の関係で無理だろうということことで「福引き抽選会」になりました。そこで商品が問題になるわけですが、夢をてっかくもどうという



うことでグリーンジャンボの宝くじを商品にしようということになりました。ただ特等は博多ホテルの食事つき宿泊券ということ、どちらの夢が大きいかは人それぞれでした。

会はこのような流れで終わりを迎えたわけですが、最後に宗高校歌を合唱して二年後の再会を期して散会となりました。

宗高16回

平成二十五年十一月六日、福岡市吉塚のサンヒルズホテルに於いて四年ぶりの同窓会を開催しました。来年は卒業して五十年の節目を迎え高年齢と呼ばれる年齢になりましたが、出席の七十五人皆顔を合わせた途端に笑顔と完成で気持ちは重大にもどったようでした。席はクラスごとに配置されていましたので話もはずみ、又歳を重ねてくると昨日のことは忘れても昔のことはよく覚えていたものです。話は尽きないままに予定の二時間が経過しました。

宴会の進行司会は米川さんにお願いで会をスムーズに進めていただきました。余興では狭い舞台での社交ダンスや日舞、詩吟をバックに空手などを披露して頂きたいひとときを過ごしました。健康に過ごしためには声を出し身体を動かすことがいちばん。真面目に老後を考える時期になったようです。

ホテルのお料理も試食検討したおかげでとても好評でした。最後に校歌を合唱し再会を誓い合っの同窓会となりました。

今回の開催にあたっては半年前から近住の同窓生で計画準備にかりましたが連絡の取れない方もあり時の経過を感じました。

次回は古希の同窓会になりそうです。



秋晴れに恵まれた平成25年11月9日(土)、第30回東京支部総会がグランパシフィック DAIWAで開催されました。

総会には関東地区のほか関西地区や宗像からの遠来の同窓生も含め145名が参加し盛大な同窓会となりました。

第30回東京支部総会

(連絡先：川端事務局長 TEL:0798-26-3828 携帯：090-8633-0366)

3. 第29回(2014年度)宗高同窓会関西支部総会開催について

今年の関西支部総会は、2014年10月25日(土)に決定しています。昨年と同じ場所(食事がおいしい)ホテル阪急インターナショナル(大阪梅田)で開催いたします。29回目の総会となります。関西のみならず、関東地区からの参加者もいらっしやいます。同窓会報を見られた皆様、是非ご参加しませんか?御連絡頂ければ卒年の学年幹事を紹介させていただきます。

(連絡先：平今総務担当 TEL:072-244-8212 携帯：080-8210-7893)

冒頭、今回の総会を最後に勇退された田中支部長より挨拶があり、「徳育を大切にしたい」と宗像人の誇りと自信をお互いに感じ合う場としてこれからも永続的に続いて欲しい」との支部総会に対する思いが語られました。

また山本支部長も勇退され、新たに瀧口支部長、巻岐支部長、古瀬支部長が選任されました。勇退されたお二人に感謝と敬意を表すると同時に新役員を中心に東京支部が益々発展するよう参加者一同誓いを合いました。

そして同窓会川島会長より田中支部長へ東京支部の旗が贈呈され、同窓生の絆の象徴として会場の雰囲気一段と盛り上げました。

引き続き川島会長より挨拶がありました。挨拶では前任の伊豆会長(現名誉会長)の蒸気機関車のような力強い功績を称えると同時に、これからは各車両がモーターを持って走る新幹線のように、学年幹事を中心に皆で同窓会を盛り上げて行きたいという思いが語られました。

梅田校長からは、世界で活躍して欲しいとの願いがこもった「宗高から日本へ、そして世界へ発信」という教育方針の下で、生徒たちが勉学に部活にしっかりと取り組んでいる様子が紹介されました。また、念願の中高一貫校に向けての取

組みが着実に実を結びつつあるとの嬉しい報告もありました。

また今回は宗像の歴史をもっと知って、宗像人としての誇りと郷土愛を深める一助にして欲しいとの田中支部長の強い思いから、宗像大社の高向宮司に講演をお願いしました。

講演では、古事記や日本書紀にも記録が残る宗像大社の生い立ちから神郡に指定された格式の高いお宮であること、また全国津々浦々で宗像神が祀られていること、沖ノ島を中心とした世界遺産への登録運動がなされていることなど大変興味深い話が聞けました。

そしていよいよ懇親会が始まりましたが、昭和20年卒業の廣嶋文武様の発声で川島会長から差し入れていただいた宗像の銘酒亀の尾での乾杯となりました。

今回はテーブルに着席形式でフランス料理のフルコースをお奢りいただくということで、参加者には大変好評のようでした。

懇親会でのフリーストックタイムで壇上に上がった43年卒業のソブラノ歌手河野明子さんを囲んで「ふりふり」を合唱するといったハズレもあり、懇親会も大いに盛り上がりしました。



支部旗贈呈

最後に恒例の宗中、宗女、宗高の校歌を合唱、巻岐支部長の音頭で万歳三喝しお開きとなりました。

来年は昭和43年と50年が当番幹事で、11月9日(日)に今年と同じ会場で開催されます。若い方にもたくさん参加していただき、楽しい同窓会になるよう祈っています。

(当番幹事 昭和42年卒業 森 誠)



がかりで制作した力作の動画DVDを映写。会場は笑いの渦に包まれた。その後、自己紹介を兼ねた3年次クラスごとの近況報告を得て、宗像高校校歌を全員で斉唱。「千載流るるぬ四塚の峰」の懐かしいフレーズは、卒業から33年がたった今でも私たちの記憶に残っていたように、途中からは手拍子を交えての大合唱となり、終会となった。

各支部だより

1. 第28回(2013年度)宗像高校同窓会関西支部総会・懇親会報告について

関西支部総会と懇親会を2013年10月26日(土)にホテル阪急インターナショナル(大阪梅田)にて開催いたしました。同窓会本部より川島会長、近藤副会長、江口副会長、大原書記、母校より梅田校長がご来賓としてご出席頂きました。また、東京支部から昨年に引き続き、



宗高同窓会関西支部総会

瀧清光氏(34年卒)、太田 哲雄氏(43年卒)の2名が来訪されました。宗像高校出身の現役大学生の方の参加(1名)もあり、今回の同窓生参加者は、人数：48名(男性：33名、女性15名)となり、昭和26年(1951年)卒から平成23年(2011年)卒と幅広い世代が集う総会・懇親会でありました。

今年度は、役員改選により前：高倉支部長(33年卒)→新：安部支部長(36年卒)に変わりました。

安部支部長(新)の挨拶、川端事務局長(新)、細川会計監査(新)からの会計報告・事務報告の後、来賓の方々から母校の活動報告(教育実践、進路実績)や、現役後輩たちのすばらしい活躍のお話をいただきました。また、宗像大社宮司・高向正秀様(43年卒)による特別講演があり、そこで、世界遺産登録を申請している宗像三女神の話など、大変興味深い話があり、皆、真剣・神妙に聞き入っておりしました。

懇親会では、最所 潤さん(43年卒)の「アコーディオン演奏」が催され、食事をしながらなごやかに聞き入っておりしました。その後は、毎年恒例のビンゴゲームやジャンケン大会などを行い、皆さん郷土宗像特産品の賞品に懐かしく、また、いい土産になりました。

最後に皆で宗像高校歌を歌い、全体の



2. 宗高関西支部幹事行事(淡路島旅行：1泊2日)について

関西支部の役員や、学年幹事などの、より一層の親睦を深めるため1泊2日で淡路島旅行を行いました。参加者は、2名で行われました。旅行では、淡路島の朝市や「人形浄瑠璃」を見たり、「そば打ち」の体験など初めての事ばかりでと

集合写真を撮り(添付参照)、また来年も会いましょう。そして更にたくさんの方の同窓生に参加して頂ける関西支部でありたいと願い、開会いたしました。あつという間の3時間でありました。



26年3月卒業生

宗像市役所支部
現在、総会日時については11月中旬を予定しています。決定しましたら、連絡します。

北九州支部
現在、総会日時については検討中です。
お問合せ先…事務局 越智 大和
093-601-5059

福岡支部
日時 11月14日(金) 18時
場所 ホテルオークラ福岡
福岡市博多区川端3-2
お問合せ先…事務局 中島 睦雄
090-9479-8375

関西支部
日時 10月25日(土) 13時
場所 ホテル阪急インターナショナル
大阪市北区茶屋町19-19
お問合せ先…事務局 川端 正
0798-26-3828
090-8533-0366

平成26年度 各支部総会・懇親会
東京支部
日時 11月9日(日) 12時~14時30分
場所 ホテルグランドパシフィックLEDAIBA
東京都港区台場2-6-1
お問合せ先…事務局 太田 哲雄
048-969-4119
090-2319-1286

終身会費・年会費納入者一覧

平成二十五年四月一日から平成二十六年三月三十一日現在分を掲載
終身会費 一〇,〇〇〇円 年会費 一,〇〇〇円
(年会費として納入するときは十年間納入)

同窓生の活躍

福岡県高校OBOGゴルフ大会団体3位
平成25年10月12日(土)に福岡カンツリー倶楽部において、第3回福岡県高校OBOGゴルフ大会が開催されました。この大会はアマチュアゴルフが出身高校別にチームを組む、38校、全49チームが参加、その中で本校OBチーム「宗高「目撃不忠」」が団体3位という素晴らしい成績を収めました。参加メンバーは高校28回卒業の的場修啓さん・三浦雅之さん・石田勝幸さん・長崎伸弘さんで、的場さんは、個人の部でも準優勝という成績を収めました。この模様は、テレビ西日本でも放映されました。

在校生も奮闘

【ハイスクールマンザイ2013】に出場！
本校3年生(平成25年当時)の村山新汰さんと松永健太さん、原直樹さんの漫才トリオ「トランジット」が、「ハイスクールマンザイ2013」に出場しました。漫才の高校生NO.1を決める大会で、地区予選、準決勝(沖縄九州地区代表決定大会)を見事勝ち抜き、なんとグランド花月(大阪府)での全国大会に出場しました。全国大会では残念ながら優勝はできませんでしたが、全国に宗像高校の名を轟かせることができましたと思います。

【ロボカップ2014 サッカー部門】世界大会(7月)へ出場決定！

電気物理部(チーム名:宗高アマテラス)が、全国大会(3月)で3位に入賞し、フナリで行われる「ロボカップ2014(サッカー部門)世界大会」7月の出場が決まりました。メンバーは、部長の佐野友哉さん(3年)、占部悦郎さん(3年)、羽生建嗣さん(3年)、柴田博之さん(3年)。ロボカップとは、真に人間社会に役立つロボット技術を育成することを目的とした国際プロジェクト。世界35カ国から競技者が集うロボカップジュニアは、国際科学技術コンテストに認定されている大変レベルの高い大会です。日本代表として活躍することを期待しています。(写真は無知事表敬訪問時)

福岡県立 宗像高等学校同窓会総会・懇親会

みなさまの参加をお待ちしています

当番幹事一同



日 時 平成26年7月20日 (日)

総会 11:00~

懇親会 12:00~

会 場 宗像ユリックス

会 費 3,000円 (80才以上無料)

平成26年度 当番幹事

高校30回(昭54年)・40回(平元年)・50回(平11年)・卒業生

ご協力宜しくお願い致します。

**当日券
あります**

第21回ゴルフ大会



- 日 時：平成26年8月23日 (土)
- 会 場：福岡国際カントリークラブ
- 参加費：3,500円 (プレー費自己負担)

申込締切：平成26年7月22日 (火)

申込方法：同窓会事務局 (Tel. 0940-36-4422)

申込は1人でも出来ますが

出来れば1組単位でお願いします。



参加費のうち、500円は奨学金に寄付させていただきます。

財団法人 奨学事業について

一般財団法人 福岡県立宗像高等学校後援会

代表理事 伊豆 善也

財団法人 福岡県立宗像高等学校後援会は、昭和6年、当時の旧制中学校の後援を目的として周辺町村長を中心とする地域の有志により設立された現文部科学省認可の財団法人です。当初は、旧制中学校発展に資するため、土地の取得や、職員住宅の確保等を主な事業としていました。その後、学校諸施設に対する援助等を主な事業としてきましたが、平成15年度からは新たに奨学事業を発足し、皆様のご支援により毎年10名程度の生徒に奨学金を給付いたしております。奨学生の皆さんは、経済的困難な状況に負けることなく勉学を続けることが出来、自己の目標達成に向けて頑張ることができました。

なお、平成25年度は各方面から八十万円余のご寄付をいただいております。ここにご寄付をいただいた方のご氏名を掲載させて頂き、本紙面をお借りして改めてお礼に代えさせていただきます。本財団法人は、今後とも在学生の奨学支援に力を注いで参る所存ですのでご支援の程よろしくお願い申し上げます。

寄付についての問い合わせ先は次のとおりです。

(一財) 福岡県立宗像高等学校後援会事務局

宗像高等学校事務局長 前原俊史

TEL 0940-36-2019

FAX 0940-36-2019 宗像市東郷六丁目7-1

奨学金、ありがとうございました。

宗女9回卒同窓生 様
宗女12回卒同窓生 様
山下 隆義 様
宗高40回卒一同 様
宗高13回卒同窓生 様
平成25年度同窓会総会当番幹事 様
占部 眞砂子 様
昭和30年宗高同窓会 様
西川 秀泉 様
宗高昭和37年卒同窓会 様
四塚会ゴルフ実行委員会参加者一同 様
宗高同窓会福岡支部 様

26年5月までにご寄付頂いた方